

会議録

会議の名称	令和2年度 第5回 西東京市地域自立支援協議会 計画策定部会
開催日時	令和2年10月30日（金曜日）午後6時30分から午後8時まで
開催場所	田無第二庁舎4階 第2・3会議室
出席者	橋爪委員、大伴委員、根本委員、天宮委員、 小矢野委員、久松委員、鵜澤委員
議題	1 開会 2 前回会議録の確認 3 議題 計画素案の検討について 4 その他 パブリックコメント等について
会議資料の名称	前回会議録 資料1 : 計画素案 資料2 : 前回会議後の追加のご意見 資料3 : パブリックコメント等について
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
会議内容	
<p>傍聴1名</p> <p>3 議題 計画素案の検討について 事務局より資料1・2を説明。</p> <p>【質疑応答】</p> <p>○発言者：委員 計画素案の第2章について、重視して欲しいのは前回の計画の取り組み結果の総括をした上で、次期計画への整理につなげることである。前回計画の取組結果については文言で整理してはどうか。</p> <p>○発言者：委員 課題整理を読んだときに、全ての項目がアンケート結果による整理から始まっており、アンケートの内容などがわからないまま組み込まれているので、ストーリーがわかりづらい印象がある。 市として実施してきた取組などのまとめが必要だと思う。</p> <p>○発言者：委員 計画素案の国の成果指標について「基準値」とあるが、何を指しているのかわからない。また、計画量のグラフについて、横軸が年度を指していると思うが、前回の資料とは異なっているので、明示した方が良いのではないかと。</p>	

事務局回答

基準値については内容がわかるように注釈を入れることを検討する。
また、グラフの横軸についても記載方法を検討する。

○発言者：委員

計画策定の背景について、文章が難解でわかりづらいと思う。また、権利条約後のサービス提供体制の変化については、それ以前の提供体制のあり方に誤解を与えないか。

地域共生社会の説明についても、抽象的な内容でわかりづらいと思う。

国の成果指標の箇所で、地域包括ケアシステムの構築が精神障害者に限定されているところが疑問に思った。

事務局回答

精神障害者に対応した地域包括ケアシステムについては、国の指針に即して記載している。

わかりづらい文言や用語については、資料編に記載する用語集で対応することを予定している。

○発言者：委員

障害者スポーツ支援事業の目標値が、第4期計画から第5期計画にかけて大幅に減ったのはなぜか。

重点推進項目1について、ピアカウンセリング事業の周知だけでなく、利用のしやすさの向上に向けた取組が必要ではないか。就労している保護者が多くなっているため、平日の日中が中心となる事業だと、周知しても利用促進につながらない場合が想定される。

事務局回答

スポーツ支援事業の目標値については、前年度の実績値を踏まえて目標値を設定したと考えられる。

現在、計画策定と並行して、地域生活支援拠点等の検討部会を進めている。ピアカウンセリング事業については個別の検討を進めているため、方針を改めたいと考えている。

○発言者：委員

行政職員などは福祉の知識に精通していると思うが、広く計画書を周知するためには、言葉の説明が必要になると思う。

例えば、レスパイトやコーディネーター、ピアカウンセリングなどは、知らない方の方が多いのではないかと思う

事務局回答

計画書を作成する際は巻末に用語集をつける予定となっている。

○発言者：委員

用語集は良い取組みだと思うが、用語集に頼ってしまうと文章としての読みづらは解消されていないと思う。

なるべく、やさしい言葉や日本語で表記していただきたいと思う。

事務局回答

文章については校正を改めて行うが、崩せない表現や用語もあるため、概要版やわかりやすい版といった別冊の資料で、市民向けの資料は作成したいと考えている。

○発言者：委員

計画の背景にあるような文章は、誰でもわかる内容に修正すると捉えてよいか。

事務局回答

書かれている内容の意味を変えることはできないが、伝わりやすい文言にできるように修正を検討する。

○発言者：委員

巻末のアンケートやヒアリングに記載のある定量や定性の課題が、市の取組の課題や次期計画の目標につながるように表現できれば良いのではないかと思う。

○発言者：委員

施設入所支援の確保方策について、地域で自立した生活を営むことが困難、という表現が一方的なものに感じられる。

社会や環境が影響していることも多いため、表現を工夫出来たら良いと思う。

事務局回答

施設入所については国として整備を制限している背景があり、サービス利用にあたっては利用者のニーズを丁寧に把握した上で対応している。表現については検討させていただく。

○発言者：委員

巻末のアンケート結果等と課題への結びつけはぜひお願いしたい。

また、用語集についての意見が出ていたが、用語集の出来が重要になるが、その内容を部会で確認する機会が必要だと思う。

○発言者：委員

用語集について、本文中に用語集への注釈を示す記号や標示などがあつた方が良い。

○発言者：委員

用語集について、説明の内容や量について、どのような人を対象に、どれくらいの説明を予定しているか。

事務局回答

障害の内容や用語を知らない方に向けた説明を予定している。

地域共生社会など、西東京市の他の計画で位置づけている考え方を参照している場合は、全てを説明するのではなく、注釈を入れるような形になると思う。

確定前に委員にはご一読いただく場を設けたいと思うので、その際にご意見を頂きたい。

○発言者：委員

色々な人に手に取ってもらって知ってもらうことは重要だと思う。

全体的に字が多いため、コラムやイラストで表現する方法もあると思う。

事務局回答

計画書の余白部分に、事業イメージにつながるような挿絵を今後入れていくことは予定している。

○発言者：委員

生徒募集の際はフローチャートのようなわかりやすい資料が必要になっている。計画書の本体の内容をかみ砕くことが難しい場合は、計画書を参照しやすくするための付属資料にわかりやすさを追求することによって、補完的な資料を作成してみてはどうか。

事務局回答

今回の計画では概要版の作成を予定しているため、頂いた意見を参考に概要版等の資料を作成したいと思う。

○発言者：委員

総括の部分については、しっかりと記載いただけると考えてよいか。

事務局回答

本日頂いたご意見と、パブリックコメントや市民説明会などでご意見を頂く場を設けているため、今日の会議を持って計画が確定するわけではない。

修正したものは改めてメールで共有させていただくが、11月中旬に庁内での合意をとるため、一旦は素案として承認いただきたい。

4 その他

パブリックコメントについて

※事務局より資料1・2を説明。

次回会議日程について連絡

閉会